

台風、襲来

シーズン

できているいますか

台風への備え

四国・九州地方は「台風銀座」と呼ばれるほどの台風の通り道で毎年数個の台風が接近・上陸しています。山地が多い三好市は台風の大雨による土砂災害が起きやすく、過去に井川町辻地区、池田町野呂内地区、山城町河内地区などで大きな被害が発生しています。

本年も6月以降、フィリピン近海の海面水温の上昇により熱帯低気圧が次々と発生する状況となり、4つが台風へと発達しています。6月の発生数としては平年より多く、台風シーズンとなる7月以降にかけての状況が心配されます。

残念ながら台風の進路を変えることはできませんが、被害を最小限にとどめるためにも、日頃から風水害に対する正しい知識を学び、備えておきましょう。

台風を知る

台風は突然襲ってくる地震とは違い、事前に情報が得られます。テレビなどから出される情報には十分注意してください。

■台風とは

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼び、このうち北西太平洋で発達して中心の最大風速がおよそ17メートル/秒以上になったものを「台風」と呼びます。台風は上空の風に流されて動き、地球の自転の影響で北へ向かう性質を持っています。そのため、東風が吹いている低緯度では西へ流されながら北上し、上空で強い

西風（偏西風）が吹いている中、高緯度に来ると、速い速度で北東へと進みます。

■台風の大まかさと強さ

台風は暖かい海面から供給された水蒸気が雲粒になるときに放出される熱をエネルギーに発達します。海水温が低いと途中で勢力が衰えて温帯低気圧に変わりますが、ほとんどの場合、発達しながら接近する傾向があります。

台風情報で「大型で強い台風第○○号は…」といったことを耳にされることもあると思います。この「大型で強い」は、「強風域」の半径や「最大風速」によって区分されていて、台風のおおよその勢力の目安を示しています。

■雨と風の強さ

台風は大雨と暴風で大きな災害をもたらします。気象情報に注意し万全の対策をとりましょう。

●雨量の目安

気象情報の注意報・警報はもちろん、雨量にも注意しましょう。雨量は、「ミリ」で表わされます。1時間の雨量が20ミリ（どしゃ降り）を超えると小さなけ崩れなどが発生し始め、道路の通行も危険になってきます。また、弱い雨でも、降り始めからの雨量が100ミリを超えたときは被害が出るおそれがあります。

雨の強さと降り方

1時間雨量	雨の降り方
10～20mm	【やや強い雨】 ザーザーと降る
20～30mm	【強い雨】 どしゃ降り
30～50mm	【激しい雨】 バケツをひっくり返したように降る
50～80mm	【非常に激しい雨】 滝のように降る
80mm以上	【猛烈な雨】 圧迫感があり恐怖を感じる。

●風速の目安

風速は1秒当たりの速度で表わされます。風速10メートル以上になると、取付けの弱い看板やトタン板などが飛ばされ始め、外出は危険な状態になります。20メートル以上では商店のシャッターが壊れたり、飛来物で窓ガラスが割れたりするなど、交通機関にも影響が出てきます。台風の場合は地形や台風の位置で強さや方向が一変します。一層の注意が必要です。

風の強さと吹き方

風速	風の強さ
風速 10m/s	【やや強い風】 傘がさせない
風速 15m/s	【強い風】 風に向かって歩けない
風速 20m/s	【非常に強い風】 飛来物で負傷する恐れがある
風速 25m/s	【非常に強い風】 立っていられなくなる
風速 30m/s	【猛烈な風】 屋外での行動は極めて危険

恐ろしい土砂災害

降雨等にもとない突然発生し、地域に壊滅的な被害をもたらす土砂災害は、人的被害が多いのが特徴です。

■市全体が危険地帯

急傾斜地が多い三好市は、その大部分が土砂災害の危険地帯であり、これまでも、様々な土砂災害が発生しています。

大雨が続くと、土砂災害の危険性が高まりますので、日頃からどこが危険か、安全な避難経路等を確認しておきましょう。

■土砂災害は予測が困難

気象庁では近年、重大な土砂災害の危険性が高まったと判断される場合には、発表中の大雨警報にくわえ「土砂災害警戒情報」を都道府県と共同で発表し、一層の警戒を呼びかけています。

■土砂災害の予兆現象

1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上になったら要注意です。次のような現象に気づいたら、早めに避難を心がけ、絶対に危険箇所付近に近づかないようにしましょう。

「土石流」

- 山鳴りがする。
 - 腐った土の臭いがする。
 - 急に川の流が濁り流木が混ざっている。
 - 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
- 「がけ崩れ」
- がけに割れ目が見える。
 - がけから水が湧き出ている。
 - 小石がばらばらと落ちてくる。
 - 木の根が切れる音がする。
- 「地すべり」
- 沢や井戸の水が濁る。
 - 地面にひび割れができる。
 - 斜面から水がふき出す。
 - 家や擁壁に亀裂が入る。
 - 家や擁壁、樹木などが傾く。

■まず情報収集を

大雨などの時に発表される注意報や警報は、住民の方に注意や警戒を呼び掛け、災害の被害を最小限に抑えることを目的としています。

台風は地震などとは違い、事前にもその大きさや進路を気象情報などで知ることができません。「暴風域に入るのはいつ頃になるのか」「予想雨量はどのくらいになるのか」などを見逃さずチェックしてください。

インターネット等でも雨量情報や河川の水位など様々な情報を得ることが出来ます。下表のホームページ等で詳しい情報が得られますので、活用ください。

代表的な防災・気象ホームページ

気象庁 気象情報 https://www.jma.go.jp/jma/
国土交通省 防災情報提供センター http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/
四国地方整備局 四国の防災・災害情報 http://www.skr.mlit.go.jp/road/info/
四国地方整備局 道路情報提供システム http://www.skr.mlit.go.jp/bosai/
徳島県 県土防災情報管理システム http://www1.road.pref.tokushima.jp

台風に備える

台風の被害を最小限にするには、気象情報などから情報を収集し、自衛や避難などの適切な判断をすることが大切です。

■台風が来る前の備え

台風の接近を知ったら、大雨が降る前や暴風が吹く前に、家の外回りの点検を行うなど災害への備えをもう一度確認しましょう。

危険箇所や安全な避難経路を確認し、災害が発生する恐れのあるときは早めの避難を心がけましょう。避難のタイミングを逃すこと被害にあうことが少なくありません。状況の変化など、情報には敏感に対応し、早めに避難することが大切です。

災害は突然襲ってきます。いざというときに、的確かつ迅速に動けるかどうかは事前の決定事項が左右してきます。つまり家族や地域で日頃から防災の話し合いを行い、災害時の行動や役割を決めておけば、肝心なときにあわてず段取りよく行動でき、被災しない可能性が高まります。

一人ひとりが防災を自らの問題として考え、日頃から話し合うことで災害に備えましょう。

大雨と暴風の警戒が必要



大雨の警戒が必要

台風の進路情報を見るポイントとしては、台風が四国のどちらを通過するかによつて本市への影響が変わってきます。台風が四国の北西側（九州から中国地方）を通過する場合は特に警戒が必要です。

豆知識



西祖谷 2分団



井川 3分団



三野 10分団

地域を守る 使命を胸に



井川 7分団



井川 6分団



池田 11分団



東祖谷 4分団



**三好市消防団
団員募集中**

お問い合わせは
三好市危機管理課まで
(電話 72-7625)

日々の訓練の成果を競う

第6回三好市消防操法競技大会

消火活動を行うための基本的な機械器具操作の正確さや動作の機敏さを競う「第6回三好市消防操法競技大会」が6月17日、池田総合グラウンドで開催され、市内消防団より15分団が参加し、日頃の訓練の成果を競い合いました。

この大会は、火災などの消火活動を行うための基本となるホースの延長から放水まで、連の動作を行い、所要時間や規律、安全性などが総合的に評価され順位が決定されました。各分団の選手たちは、指揮者の号令のもと数ヶ月にも及ぶ訓練の成果を遺憾なく発揮し、機敏な動き、見事なホースさばきを披露しました。

各部門の競技結果は以下の通りで、ポンプ車上位1チーム、小型ポンプ上位2チームは、7月22日に北島町で開催される徳島県消防操法競技会に出場します。

【ポンプ車の部】

- 1位 井川消防団 第3分団
- 2位 池田消防団 第11分団
- 3位 三野消防団 第5分団

【小型ポンプの部】

- 1位 三野消防団 第9分団
- 2位 三野消防団 第10分団
- 3位 西祖谷消防団 第1分団
- 4位 池田消防団 第10分団
- 5位 東祖谷消防団 第4分団

個人賞【ポンプ車】

- 指揮者 咲川秀二
(池田消防団 第11分団)
- 1番員 辻岡祐輔
(池田消防団 第11分団)
- 2番員 三木 敦
(池田消防団 第11分団)
- 3番員 多田明伸
(井川消防団 第3分団)
- 4番員 近藤洋平
(井川消防団 第3分団)

個人賞【小型ポンプ】

- 指揮者 辺見好久
(三野消防団 第9分団)
- 1番員 矢田 健
(三野消防団 第9分団)
- 2番員 豊島康弘
(西祖谷消防団 第1分団)
- 3番員 金藤良武
(山城消防団 第3分団)



東祖谷 8分団



三野 5分団



西祖谷 1分団



山城 3分団



三野 9分団



山城 4分団



池田 10分団



三野 9分団



池田 14分団

緊急速報（洪水情報）の発信イメージ

- 対象となる観測所：【吉野川上流】池田観測所（三好大橋）
- 配信するタイミング：氾濫危険水位を超えた時及び河川が氾濫した時

水位
超過

河川
氾濫

計画高水位

氾濫危険水位

避難判断水位

氾濫注意水位

水防団待機水位

（件名）河川氾濫のおそれ
（本文）吉野川の水位が上昇し、池田水位観測所（三好市三好大橋付近）で避難勧告等の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。堤防が壊れるなどにより浸水のおそれがあります。防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください……
（署名）国土交通省

氾濫危険水位を超えた時に
携帯電話等に届く情報

河川が氾濫した時に
携帯電話等に届く情報

（件名）河川氾濫発生
（本文）吉野川の●●町●●地先（●岸●●k）付近で河川の水が堤防を越えて流れ出ています。防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください……
（署名）国土交通省

国土交通省よりお知らせ
洪水情報の緊急速報メール配信訓練
8月5日午前10時頃に
緊急速報メールを1回配信します。
配信エリア 吉野川流域の美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町
※配信エリア以外の近隣へも配信される場合があります
お問い合わせ先
国土交通省四国地方整備局
徳島河川国道事務所河川調査課
電話（0898）654-19611
三好市危機管理課
電話721-7625

国土交通省では、平成29年5月1日から、吉野川流域の美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町の皆様の携帯電話やスマートフォンに対して、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」を活用した洪水情報のプッシュ型配信（メール配信）を実施しています。

一斉に
携帯電話や
スマートフォンが
鳴ります